



とらいあんぐる



2018 年 4 月

一音会ミュージックスクール発行

「ピーク」

先日、私にとって、とても緊張する 1 日がありました。それは「ジュニコン・オーディション」の日でした。

一音会では、客員教授の先生をお招きした時に、「オーディション」を開催しています。

一音会の客員教授の先生方は、世界に名だたる国際コンクールの審査員を実際につとめています。

「決して、一音会用の甘い基準で審査しないでほしい」と、当初からお願いしています。

コンクールの世界基準を知る先生方が、手加減なく審査をします。

一音会では、オーディションの形をとり、審査の結果、選ばれた生徒さんは、4 月下旬に開催する「ジュニア・コンサート」に出演します。

「ジュニア・コンサート」、略して「ジュニコン」です。そのオーディションなので、「ジュニコン・オーディション」と呼んでいるのです。

私にとっては、とても緊張する日です。緊張、それから不安です。自分が弾くわけでもないのに……。そう思うと苦笑するしかありません。

しかし、出演する生徒さんは、よく知る生徒さんばかりです。小さい頃から知っています。

いつも通りに弾けるだろうか・・・
普段の力を発揮できるだろうか・・・
そんなことを考えはじめると、不安になってしまいます。

私がジタバタしたってどうにもならないだけに、自分のことより緊張してしまうのです。

前夜になると、祈るような気持ちになります。

「ああ、明日なにごともなく、1日がうまく運びますように！」



そんな気持ちになった夜、私は決まってる夢を見るのです。

今回もそうでした。

夢の中でも、私は緊張と不安で、ジタバタしています。

だって明日は、運動会なのですから！

運動会だから、体操着が必要です。

なのに・・・なのに・・・体操着がないのです。私は普段、使っているクローゼットから、洋服を次々ひっぱりだします。

どこにしまったんだっけ？

いくら考えても、どうしても思い出せません。汗があとからあとからふきだします。

今度は洋服ダンスの引き出しをあげ、また洋服をひっぱりだします。

最後にどこにしまったのか、不思議なほど、記憶がありません。泣きたい気持ちになってきます。

どうしよう！ 明日は運動会なのに！

汗びっしょりになって、目がさめま

す。

今回も、まったく同じ悪夢でした。

目がさめて、笑うしかありません。

体操着、あるはずもありません。最後に着たのは、いったい何十年前のことか！

運動会と縁遠くなって数十年。いいかげん、悪夢から解放されてよさそうなものです。

改めて考えてみます。どうして私は、いつまでも運動会の夢を見続けるのだろうか？

おそらく私の人生の中で、運動会の前夜というのは、緊張と不安がピークに達した時だったのだと思います。

そして、その後、何十年たっても、そのピークをこえることがない、ということなのかもしれません。

だから何歳になっても、いつもピークであった運動会がよみがえるのです。

おそらく私はおばあさんになっても、夢の中で体操着を探すのでしょう。

この話を夫にしました。

笑い話のつもりでした。

ですが、夫は笑いませんでした。

「いや、実はオレも・・・」

きけば、夫にも繰り返し見る悪夢があったのでした。

彼の夢の中で彼は、気がつくど、大学の教室で大勢の受験生にまじって座らされています。

状況がのみこめない彼は、きよろきよろとあたりを見まわします。

「え！ これってまさか、大学受験？！」

気がついてしまうと、焦りがこみあげます。

「まずい、全然、勉強してないじゃないか！」

よくわからないけれど、昨日もおとも、受験勉強をしていないような気がするのです。

なんでこんなことに・・・。

深く考える時間はありません。

「はじめ！」

号令とともに、全員がいつせいに解答用紙を、おもてにかえます。

問題をみて、顔色が紙より白くなり

ます。

「ぜんぜんわから————ん！」

心の中で、絶叫します。

そして目がさめます。

夫も、重要な日を控えると、その夢を見るようです。

そんな夫の職業は、大学教授です。

教える側にまわって、何十年もたっているのに！

彼にとって、大学受験は、1つの感情のピークだったのでしょ。

あきれてしまうような話ですが、それよりずっと前の運動会をのりこえられていない私が、えらそうなことはいえません。

人が人生のはやい時代に、感情のピークをむかえる、ということは、よくあることなのではないかと、最近、思うようになりました。

いい方をかえれば、人生長くとも、子ども時代のできごとは、特別大きなインパクトを持ちうる、ということです。

そう考えますと、今、私は子どもの

身の近くにわが身をおいて、子どもの人生を見守っているわけですが、その責任がとてつもなく重いものであることに気づかされます。

この1つ1つが、一生、刻まれるできごとになるかもしれません。

話を「ジュニコン・オーディション」に戻します。

嬉しかった人。たくさん喜んでください。

くやしかった人。たくさんくやしんでください。

その強い感情には、意味があります。今まさに、時は新学期。いろいろなことがスタートします。

楽しいことも、苦しいことも、嬉しいことも、悲しいことも・・・たくさん経験してほしいと思います。

そして、いっぱい笑って、いっぱい泣いて、いっぱい驚いて、いっぱい緊張して、いっぱい心を動かしてください。

成功にも失敗にも意味があります。

(江口 彩子)

◆新年度の変更ご希望を受け付けています

新年度がスタートしました。

皆さまに新年度希望表をご提出いただき、無事、新時間割を作成することができました。新時間割作成の際には、お時間やコースについて、たびたびご相談、ご連絡をさせていただきましたが、多くの方が、お忙しい中、折り返しご連絡をくださり、ご家族の皆さまのご協力に、深く感謝しているところです。本当にありがとうございました。

さて、新しい時間割がスタートしています。新しい生活スケジュールは、いかがでしょうか。新時間割は、できる限り、皆さまのご希望にそってお組みしたつもりですが、新生活がスタートしてみると、生活のタイムスケジュールが思うようにいかないことも、しばしばです。もし、不都合が判明しましたら、レッスン時間の変更についてご相談ください。

レッスン曜日・時間等の変更は、なるべく早く、本部にお電話ください【本部：03-5966-7711（担当・伊藤、矢島）】。4月16日（月）までに、変更希望をおっしゃっていただければ、5月から新しいスケジュールでお受けいただくことができます。

ただし、年度がわりの変更と同様、曜日や時間帯を変更される場合、原則として担当も変わってしまいますので、その点はどうかご了承ください。

新しい先生、新しいお友だちとの出会いが、幸せなものでありますよう、願っています。



◆年間スケジュールをお配りしています

年間スケジュールが完成しました。この「とらいあんぐる」と同時にお配りしています。

今年最大の行事である「ピアノ発表会」は、8月3日(金)・4日(土)・5日(日)・6日(月)の4日間です。

場所は、昨年と同じ「成増アクトホール」です。駅前といってよいほど、駅からのアクセスが良い会場です。

「ピアノ発表会」は、原則、全員参加です。

ピアノは、人に聴かせる芸術です。人前で演奏する機会なくして、上達することができないため、生徒さん全員にご参加いただいています。ご協力をよろしく願っています。

この春、ピアノをおはじめになった生徒さんも、十分、間に合います。この夏も、生徒さん全員が大きな舞台を経て、大きく飛躍するよう、スタッフ一同、全力で指導にあたらせていただきます。

「ピアノ発表会」のくわしいご案内は、追ってお配りいたします。ご不明の点は、本部までお気軽にご質問ください【本部：03-5966-7711（担当・谷口）】。

その他のイベント日程に関しましても、スケジュール表でご確認ください。



◆プリドノフ先生ご夫妻が離日されました

客員教授のプリドノフ先生ご夫妻が、3月のすべてのスケジュールを終え、離日されました。

プライベートレッスンにお申し込みくださった生徒さん、コンサートに足をお運びくださった皆さま、「ジュニコン・オーディション」にエントリーしてくださった生徒さん、どうもありがとうございました。

プリドノフ先生ご夫妻は、「たくさんの才能のきらめきを見た。彼らの成長を見守るためにも、またかならず来る」と、約束してくださいました。

◆「第12回ジュニア・コンサート」を開きます

3月21日(祝)におこなわれた「ジュニコン・オーディション」の結果を受け、4月23日(月)に、「第12回ジュニア・コンサート」を開きます。

場所は、西武池袋線「大泉学園」駅北口より徒歩1分、「ゆめりあホール」です。時間は、夕方6:30開場、7:00開演です。



「ジュニコン・オーディション」とは、小学4年生から高校3年生までの一音会の生徒さんならどなたでも参加できる、公開制オーディションです。客員教授のプリドノフ先生ご夫妻が審査をおこない、審査に合格した生徒さんが、「ジュニア・コンサート」にご出演なさいます。

審査の厳しいオーディションではありますが、プリドノフ先生ご夫妻から、演奏についての丁寧な講評がもらえます。

オーディションにご興味のある方は、まず「ジュニア・コンサート」に足をお運びください。次回以降のオーディションにつきましても、決まり次第、お知らせいたしますので、目標の1つにしてみても、いかがでしょうか。

コンサートの詳細につきましては、教室内にポスターを掲示してお知らせしています。

入場料は、小学生以上の前売りチケット1000円（当日1500円）、未就学児の前売りチケット500円（当日800円）です。「ジュニア・コンサート」のチケットは、当日もお求めいただけますが、ショパンはうす受付でも販売しております。

お一人でも多くの方に、応援にいらしていただけることを願っています。



ゆめりあホール

◆今年のサクラ

今年も、音楽系の進学を希望された生徒さん全員が、第一志望校に合格を果たされました。おめでとうございます。

微力ながらお手伝いさせていただきました私どもにとっても、嬉しい春でした。

東京芸術大学	(作曲専攻)	1名
上野学園大学	(ピアノ専攻演奏家コース)	1名
東京都立総合芸術高校	(ピアノ専攻)	1名
東京都立総合芸術高校	(サクソホン専攻)	1名
東京音楽大学付属高校	(ピアノ専攻)	1名

一音会では、特に音楽の道を志望していたわけではなかったのに、気がついたら、ピアノが音楽大学に進学できるレベルになっていた、というケースが少なくありません。

ですが、ピアノだけで進学することはできません。受験には、ピアノ実技以外にも、いくつかの音楽科目があり、内容は志望校によっても異なります。一音会は、そのすべてをサポートさせていただいています。

音楽大学、および付属学校に進学をご検討中の方は、おはやめにご相談ください。まだはっきりと決めていないうちのご相談で、もちろん大丈夫です。



◆ご卒業生のご活躍

一音会のご卒業生で、現在、ピアニストとして活躍中の藤田真央さんが、「題名のない音楽会」に出演されます。藤田真央さんは、2歳の時に一音会に入会され、リトミック、絶対音感、ピアノを学び、現在は東京音楽大学に在学中です。

藤田真央さんが一音会時代の思い出を語る記事を、現在、一音会ホームページに掲載しています。ご興味がおありの方は、番組とともに、ぜひ一音会ホームページも、ご覧ください。

「題名のない音楽会」4月14日（土）朝10：00～10：30 テレビ朝日系列
4月15日（日）朝 8：00～8：30 BS朝日

◆お月謝の引き落としについて

お月謝は、通常、前月末に引き落としさせていただいています。3月27日（火）の引き落としは4月分のお月謝金額をいただくところですが、調整が間に合いませんので、いったん旧お月謝で引き落としをし、4月27日（金）に4月分、5月分の精算をさせていただきます。

それぞれの生徒さんのお月謝内訳表も順次、レッスンまたは郵送にてお渡ししますので、ご確認をお願いいたします。

*スクールの生徒さんのご質問を、以下の2つの方法で受け付けています。

メール：1000@ichionkai.co.jp 電話：03-3954-9999

*お電話での質問時間は、毎週月曜日の午後7時～9時です。ただしレッスンがお休みの日は、質問もお休みとさせていただきます。（今年度より、月曜日の夜に行なっております。よろしく願いいたします）

*ご質問は、お一人でも多くの方のご質問にお答えするために、お1人10分を目安とさせていただきます。ご了承ください。